**訴　　　　　　　状**

令和○年○月○日

# ○○地方裁判所民事第○部　御中

原告訴訟代理人弁護士　○　○　○　○　印

# 当事者の表示　別紙当事者目録記載のとおり

# 求償金請求事件

## 訴訟物の価額　○○円

## 貼用印紙額　　○○円

# 第１　請求の趣旨

## １　被告は，原告に対し，○○円及びこれに対する令和○年○月○日から支払済みまで年○分の割合による金員を支払え。

## ２　訴訟費用は被告の負担とする。

との判決並びに仮執行の宣言を求める。

# 第２　請求の原因

## １　訴外○○の損害

### ⑴　別紙「事案の概要」及び別紙「損害額一覧表」記載のとおり。

### ⑵　事前交渉の経過に鑑み，本件で予想される争点等につき，次のとおり補足する。

#### ア　事故態様

・・・

#### イ　後遺障害

・・・

## ２　保険契約の締結及び保険金の支払

### ⑴　原告は，本件事故当時，訴外○○との間で，被保険者を訴外○○とする人身傷害保険契約を締結していた。

### ⑵　原告は，令和○年○月○日までに，訴外○○に対し，上記⑴の保険契約に基づき，本件事故の損害につき人身傷害保険金合計○○円を支払った。

### ⑶　これにより，原告は，保険法２５条に基づき，訴外○○の過失割合○％に相当する部分を上回る○○円につき，訴外○○が被告に対して有する損害賠償請求権を代位した。

## ３　よって，原告は，被告に対し，保険法２５条により代位取得した民法７０９条に基づく損害賠償金○○円及びこれに対する保険金の最終支払日の翌日である令和○年○月○日から支払済みまで民法所定の年○分の割合による遅延損害金の支払を求める。

# 第３　本訴に至る経緯の概要

## １　原告は，訴外○○に保険金を支払った後，被告にその求償を求め，被告側の代理人弁護士（○○法律事務所，○○弁護士）を通じて交渉を行ってきた。

## ２　しかし，被告側は，過失割合を訴外○○　○○％対被告○○％と主張して譲らなかったため，やむなく本訴を提起した。

なお，本訴についても，被告には上記弁護士が受任予定と聞いている。

# 証拠方法　令和○年○月○日付け証拠説明書記載のとおり

# 附属書類　（略）

以上